

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2026年 第15週（4月6日～4月12日）

今週のコメント

～インフルエンザ～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 非流行期入り」

第15週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,461例であり、前週比1.2%増であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、水痘・咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.83、1.53、0.60、0.31である。

感染性胃腸炎の報告数は前週比1%増の884例で、北河内7.18、中河内6.32、大阪市東部5.50、南河内5.27、三島4.94であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は6%減の280例で、中河内2.47、北河内2.41、大阪市東部2.00である。

RSウイルス感染症は12%増の109例で、大阪市北部1.15、北河内1.14、大阪市東部1.00であった。

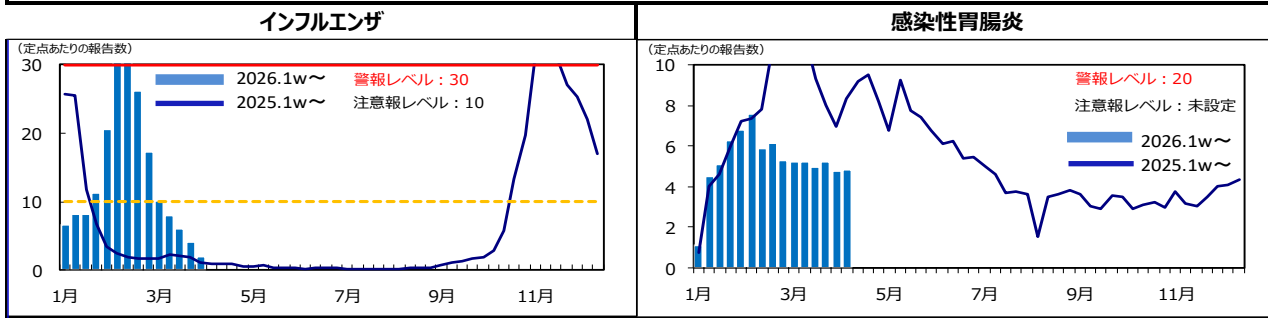
水痘は33%増の57例で、堺市0.59、大阪市西部0.50、中河内0.42である。

咽頭結膜熱は6%増の56例で、中河内0.95、泉州・北河内0.55であった。

インフルエンザは54%減の265例で、定点あたり報告数は0.92である。豊能1.18、北河内1.14、大阪市南部1.08、中河内1.07、大阪市北部0.90であった。

新型コロナウイルス感染症は3%減の105例で、定点あたり報告数は0.37である。大阪市東部0.60、南河内0.52、北河内0.50、豊能0.48、堺市0.44であった。

急性呼吸器感染症（ARI）は2%増の8,277例で、定点あたり報告数は28.84である。南河内42.04、北河内36.78、中河内33.76、堺市31.24、大阪市北部30.20であった。



※2025年第15週以降、定点医療機関数の変動により、警報レベル・注意報レベルの数値は参考値

表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2026年 第15週4月6日～4月12日）

第15週の順位	第14週の順位	感染症	2026年 第15週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2025年 第15週の 定点あたり 報告数	2026年第15週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	4.83	1%増	8.35	1歳_18%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.53	6%減	1.34	4歳_15%
3	3	RSウイルス感染症	0.60	12%増	0.91	1歳未満_38%
4	5	水痘	0.31	33%増	0.19	10-14歳_30%
4	4	咽頭結膜熱	0.31	6%増	0.20	1歳_27%
参考		インフルエンザ (急性呼吸器感染症定点報告疾患)	0.92	54%減	0.99	20歳以上_33%
参考		新型コロナウイルス感染症 (急性呼吸器感染症定点報告疾患)	0.37	3%減	1.72	1-4歳_17%
参考		急性呼吸器感染症 (急性呼吸器感染症定点報告疾患)	28.84	2%増	33.86	1-4歳_43%

2025年第15週から急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection : ARI)サーベイランスが開始となりました。

2025/26年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

各疾患の詳細は、[大阪府感染症情報センターホームページ（定点把握疾患、疾患別情報、病原体検出情報）](#)をご覧ください。

第15週のコメント

～A型肝炎～ 2026年は15週時点で昨年累計報告数に達しています。
ワクチン接種で予防可能な感染症です。

全数把握感染症	
A型肝炎	
<p>A型肝炎は、A型肝炎ウイルス感染による疾患である。ヒトからヒトへの直接的な接触（糞口感染）、または汚染された食品や水の摂取によって感染する。冷凍してもウイルスは不活化されず、氷や冷凍食品を介して感染する可能性がある。また、性交渉によって感染することもある。潜伏期は2～7週間であり、発熱、倦怠感などに続き、肝機能障害、食思不振、嘔吐、黄疸、肝腫大、灰白色便を認める。1～2カ月の経過の後に自然回復するが、まれに劇症化することがある。ワクチン接種が有効とされ、接種後、抗体獲得率は、95%以上である。感染防御効果は数年以上続くと言われている。</p> <p>A型肝炎 (Hepatitis A) [厚生労働省 検疫所] 食品を介したウイルス感染症 (大阪健康安全基盤研究所)</p>	<p style="text-align: center;">年別累積報告数（大阪府）</p> <p style="text-align: center;">15w</p>

表 2. 大阪府全数報告数（2026年 第15週4月6日～4月12日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
(報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。)

	疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2	1							1	17
	腸チフス	1								1	2
4類感染症	A型肝炎	2			1					1	8
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2								2	25
	侵襲性肺炎球菌感染症	4		1		1				2	82
	水痘（入院例）	2			1					1	15
	梅毒	10		2		1	1	1	1	4	312
	百日咳	1								1	112
	麻しん	1								1	13
結核 (2026年2月分)	結核 新登録患者数：56名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 23名) (府内累積報告数 149名、内 肺・喀痰塗抹陽性 56名)										

(2026年4月14日 集計分)